

「平成24年度市場取扱品流通状況調査」の結果について

大阪府中央卸売市場指定管理者

大阪府中央卸売市場管理センター株式会社

大阪府中央卸売市場では、当市場を経由して供給される生鮮食料品等の流通の実態を地域別、業態別に把握するため、平成24年10月6日（土）に、市場取扱品流通状況調査を実施した。

1 調査方法および調査内容

平成24年10月6日（土）を調査対象日とし、その日の取引について、卸売業者、仲卸業者に調査票を配布し回収した。

主な調査内容は、取扱品目ごとの取扱件数、各搬出先の所在地、業種、及び販売量などである。

調査票により回答のあった調査対象日の取扱件数及び数量は以下の表のとおりである。

	野菜	果実	生鮮水産物	加工水産物	合計
取扱件数(件)	1,553	816	2,304	753	5,426
取扱数量(kg)	1,007,466	286,339	576,306	235,006	2,105,117

2 地域別の搬出状況

数量ベースでみた地域別の搬出先割合は、供給圏(※)45.7%（前年比4.5ポイント減）、供給圏以外の大阪府16.1%（同0.6ポイント増）、他府県38.2%（同3.9ポイント増）であった。

供給圏の内訳は、三島地区22.0%、豊能地区5.2%、北河内地区12.4%、その他供給圏6.1%で、前年比はすべての地区で減少した。

他府県の内訳は、兵庫県18.0%、京都府10.2%、奈良県1.8%、滋賀県2.7%、その他の県5.5%で、前年比はその他の県のみ減少した。

種類別では、野菜が供給圏55.9%、供給圏以外の大阪府16.6%、他府県27.5%。果実が供給圏51.5%、供給圏以外の大阪府12.4%、他府県36.1%。生鮮水産物が供給圏32.7%、供給圏以外の大阪府15.9%、他府県51.3%。加工水産物が供給圏27.1%、供給圏以外の大阪府18.9%、他府県54.0%であった。

地域別搬出先割合

（単位：％、ポイント）

地域		種類	野菜	果実	生鮮水産物	加工水産物	総計	前年比増減
供給圏	三島地区		30.2	24.0	11.6	9.9	22.0	▲1.7
	豊能地区		6.1	5.3	5.0	1.9	5.2	▲0.3
	北河内地区		14.2	11.3	10.0	12.0	12.4	▲1.1
	その他供給圏		5.4	10.9	6.1	3.3	6.1	▲1.3
	供給圏計		55.9	51.5	32.7	27.1	45.7	▲4.5
	供給圏以外の大阪府		16.6	12.4	15.9	18.9	16.1	0.6
大 阪 府 計			72.5	63.9	48.7	46.0	61.8	▲3.9
他府県	兵庫県		18.4	9.1	23.6	13.7	18.0	6.3
	京都府		5.2	9.7	17.0	15.3	10.2	0.8
	奈良県		0.6	0.6	4.5	1.3	1.8	0.3
	滋賀県		0.3	12.4	1.7	4.0	2.7	1.3
	その他の県		3.0	4.2	4.6	19.7	5.5	▲4.8
他 府 県 計			27.5	36.1	51.3	54.0	38.2	3.9
合 計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	---

（注）各項目を単位未満で四捨五入しているため、各項目の和と計が合わないことがある。

※供給圏について

府市場の開設に当たり国が指定した開設区域を供給圏としています。
本調査の地域区分は以下のとおりです。

三 島 地 区：吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町
豊 能 地 区：豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
北 河 内 地 区：守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市
その他供給圏：大阪市（淀川区、東淀川区、旭区、城東区、鶴見区）、東大阪市

3. 業態別の搬出状況

数量ベースでみた業態別搬出先割合は、スーパーが 58.4%で最も多く、次いで一般小売業者が 19.3%、その他（地方卸売市場等）が 12.4%、加工業者が 4.5%、飲食業者が 3.1%、給食業者が 2.3%であった。

前年比をみると、加工業者（1.0 ポイント増）、飲食業者（0.4 ポイント増）、その他（0.8 ポイント増）が増加し、スーパー（1.1 ポイント減）、給食業者（1.0 ポイント減）が減少している。

スーパーへの搬出割合を種類別にみると、野菜 57.3%、果実 60.4%、生鮮水産物 58.3%、加工水産物 60.8%で、果実と加工水産物は 6 割を超えている。

業態別搬出先割合

（単位：%、ポイント）

業態 \ 種類	野菜	果実	生鮮 水産物	加工 水産物	総計	前年比 増減
一 般 小 売 業 者	15.9	21.0	23.8	21.1	19.3	0.0
ス ー パ ー	57.3	60.4	58.3	60.8	58.4	▲ 1.1
給 食 業 者	3.6	1.6	0.7	1.2	2.3	▲ 1.0
加 工 業 者	8.6	0.4	1.2	0.1	4.5	1.0
飲 食 業 者	1.6	0.7	7.5	1.3	3.1	0.4
そ の 他	13.1	15.8	8.5	15.3	12.4	0.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	---

（注）各項目を単位未満で四捨五入しているため、各項目の和と合計が合わないことがある。

業態別搬出先割合の推移

（単位：%、ポイント）

業 態 \ 年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年
一般小売業者	16.4	24.5	26.0	17.7	21.0	19.0	20.7	18.0	19.3	19.3
ス ー パ ー	59.8	50.4	55.2	59.8	57.1	59.1	58.0	58.9	59.6	58.4
給 食 業 者	2.7	4.6	2.5	2.7	3.5	2.1	2.2	3.4	3.3	2.3
加 工 業 者	7.3	6.3	2.5	9.3	2.6	3.3	2.2	3.3	3.6	4.5
飲 食 業 者	1.7	1.5	1.5	1.2	2.0	1.0	1.5	1.6	2.7	3.1
そ の 他	12.0	12.7	12.2	9.3	13.8	15.6	15.4	14.8	11.7	12.4
合 計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（注）各項目を単位未満で四捨五入しているため、各項目の和と合計が合わないことがある。

4. 配達状況

配達件数の状況をみると「買出人の自動車まで」が 63.8%と最も多く、次いで「買出人の店舗まで」20.5%、「買出人の配送センターまで」8.9%、「持帰り」4.5%となっている。

「買出人の店舗まで」の割合を種類別でみると、果実 32.0%、野菜 24.8%、加工水産物 18.4%、生鮮水産物 14.7%、の順で、青果の割合が高くなっている。

業態別でみると、給食業者は「買出人の店舗まで」と「買出人の配送センターまで」を合わせると 5 割近くになっている。

仲卸業者の商品配達先割合

(単位: %)

種類・業態		配達	買出人の 自動車まで	買出人の 店舗まで	買出人の配送 センターまで	持帰り	無記入	総計
種類別	野菜		57.1	24.8	9.9	4.3	3.9	100.0
	果実		47.3	32.0	10.4	3.1	7.2	100.0
	生鮮水産物		73.8	14.7	7.3	4.0	0.2	100.0
	加工水産物		62.7	18.4	10.5	7.7	0.6	100.0
	合計		63.8	20.5	8.9	4.5	2.3	100.0
業態別	一般小売業者		79.8	6.5	0.8	11.3	1.6	100.0
	スーパー		58.3	21.8	16.5	1.6	1.7	100.0
	給食業者		35.9	35.9	13.1	0.7	14.5	100.0
	加工業者		48.6	38.5	5.5	3.7	3.7	100.0
	飲食業者		53.1	36.0	3.4	6.5	0.9	100.0
	その他		23.9	25.7	23.6	16.6	10.2	100.0
	合計		61.6	19.8	9.5	6.6	2.5	100.0

(注) 各項目を単位未満で四捨五入しているため、各項目の和と合計が合わないことがある。

5. 加工状況

加工状況を件数からみると、「加工あり」の割合が 12.6%であった。「加工あり」の割合を種類別にみると、野菜 21.7%、果実 13.4%、生鮮水産物 5.4%、加工水産物 16.1%で、野菜が高くなっている。

仲卸業者の種類別加工割合

(単位: %)

種類	加工有無	加工あり	加工なし	総計
野菜		21.7	78.3	100.0
果実		13.4	86.6	100.0
生鮮水産物		5.4	94.6	100.0
加工水産物		16.1	83.9	100.0
合計		12.6	87.4	100.0

調査日における流通経路

※1 () 内は、取扱件数

※2 委託・買付割合は平成 24 年 10 月分の割合

※3 t 以下は四捨五入(0t は 500kg 以下の場合あり)

四捨五入のため、各項目の和と合計が合わないことがある。



